

科目ナンバリング		U-LAS05 20012 LJ39							
授業科目名 <英訳>	人文地理学各論III (歴史地理) Topics in Human Geography III(Historical Geography)				担当者所属 職名・氏名	文学研究科 教授 米家 泰作			
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	地域・文化(各論)		使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2026・後期		曜時限	金2		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
<p>本科目は、過去の地理を研究する「歴史地理学」の視点と成果を概説する授業です。</p> <p>歴史学と地理学の特色をあわせもつ歴史地理学は、すなわち人間が長い年月をかけて作り上げてきた村落や都市、交通や領域のなかに潜む空間的な秩序に、関心を寄せてきました。また、そのような秩序のなかに生きる人間が、自らがくらす環境や世界をどのように認識してきたかという「地理思想」(あるいは imagined world)の問題にも取り組んできました。</p> <p>当授業では、具体的な事例を通じて歴史地理学の考え方に触れることで、現在の空間から過去にアプローチする視点と、空間と社会の関係史を捉える視点を養うことを目標とします。</p>									
【到達目標】									
<p>地理・景観・環境を歴史的に、そして歴史を空間的に捉える視点を身につけ、地域が歴史的に形成された秩序であることを考察する能力を養う。また私たちの地理的な知識や認識自体が、歴史的に形成され、特定の地理に根ざしていることを自覚し、それを相対化する力を身につける。</p>									
【授業計画と内容】									
<p>I. 空間に刻まれた秩序</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 史料としての景観 京都に平安京を読む</li> <li>2. 方格化された農村 条里の景観</li> <li>3. 都市プランを読む 都城と城下町</li> <li>4. 村の領域 空間を区切る仕組み</li> </ol> <p>II. 地図が可視化する世界</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>5. 世界を画像化する 地図と宗教的真理</li> <li>6. 日本の地理的身体 行基図と異域</li> <li>7. 国土図と国家 空間の計量と可視化</li> <li>8. 植民地と地図 日本北方の探検と領土</li> </ol> <p>III. 空間の管理と支配</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>9. 領土の地理学 地誌という文化統治 -</li> <li>10. 村々の支配と村落地理 村絵図と巡見</li> <li>11. 風景と統治の眼差し 叙景と鳥瞰</li> </ol> <p>IV. 空間に歴史を見いだす</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>12. 史蹟の景観 歴史認識の場所</li> <li>13. 古図と歴史地理的心性 過去を可視化する</li> <li>14. 他者と過去の心象地理</li> <li>15. フィードバック(方法については別途連絡)</li> </ol>									
----- 人文地理学各論III (歴史地理) (2)へ続く -----									

## 人文地理学各論Ⅲ（歴史地理）(2)

### 【履修要件】

特になし

### 【成績評価の方法・観点】

平常点（30%。3回のリアクションペーパー提出）と期末レポート（70%。小論文）で評価します。前者については、指摘や考察の意義によって評価します。また後者については、授業で示した視点の理解度と、説明の正確性、ならびに受講生自身の考察や探究の展開を、あわせて評価します。

なお、リアクションペーパー・期末レポートともに、AIで生成した文章の利用が疑われる場合は特別に口頭試問を課し、その結果を評価に反映させます。

### 【教科書】

使用しない

### 【参考書等】

（参考書）

上杉和央 『歴史は景観から読み解ける - はじめての歴史地理学 - 』（ベレ出版、2020）ISBN:978-4860646349（歴史地理学の目のつけどころを、わかりやすく解説。）

足利健亮 『地図から読む歴史』（講談社（学術文庫）、2012）ISBN:978-4062921084（歴史地理学の発想の楽しさを示す一書。）

金田章裕 『景観からよむ日本の歴史』（岩波書店（岩波新書）、2020）ISBN: 978-4004318385（景観のなかに歴史が感じとれるさまざまな例を紹介。）

伊藤喜栄 『教養としての地歴学 歴史のなかの地域』（日本評論社、2006）ISBN:978-4535584778（空間的な秩序の形成を体系的に論じる。）

J・モリッシーほか 『近現代の空間を読み解く』（古今書院、2017）ISBN:978-4772231848（英語圏の歴史地理学の鍵概念を概説。より専門的に学びたい方にお薦め。）

米家泰作（編） 『生活・文化・歴史空間を探究する』（古今書院、2026（予定））（地理学講座シリーズの1冊。歴史地理学にかかわる3つの章を含む。）

（関連URL）

<https://researchmap.jp/tkomeie>(Researchmap (科学技術振興機構のデータベース型研究者総覧))

[https://kdb.iimc.kyoto-u.ac.jp/profile/ja.1e2d6b0ea8140ba4.html#display-items\\_basic-information](https://kdb.iimc.kyoto-u.ac.jp/profile/ja.1e2d6b0ea8140ba4.html#display-items_basic-information)(京都大学教育研究活動データベース)

<https://orcid.org/0000-0002-3391-5069>(ORCID (Open Researcher and Contributor ID))

### 【授業外学修（予習・復習）等】

毎回の授業で示す参考文献を読んだり、取り上げた地域を実際に訪問するなどして、主体的に関心を深めることを期待します。

### 【その他（オフィスアワー等）】

質問や問い合わせは、遠慮なくメールでどうぞ。オフィスアワーも設定しています。

[komeie.taisaku.8s@kyoto-u.ac.jp](mailto:komeie.taisaku.8s@kyoto-u.ac.jp)

### 【主要授業科目（学部・学科名）】